

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

三重県紀宝町

自治体名： 三重県紀宝町

担当課名： 教育委員会事務局教育課

電話番号： 0735-33-0341

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	79.62km ²
人口	10,148人
公立中学校数	2校
公立中学校生徒数	229人
部活動数 (運動部活動のみ)	10部活
地域クラブ活動数	18クラブ
市区町村の協議 会・検討会議等 の設置状況	設置済
市区町村の推進計 画・ガイドライン等の 策定状況	策定済

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

紀宝町の中学校における運動部活動においては、毎年部員数が減少しており、これまでのような大人数で練習を行い大会に出場し競い合う等のスポーツ活動を通した子どもの育成が難しくなっている。

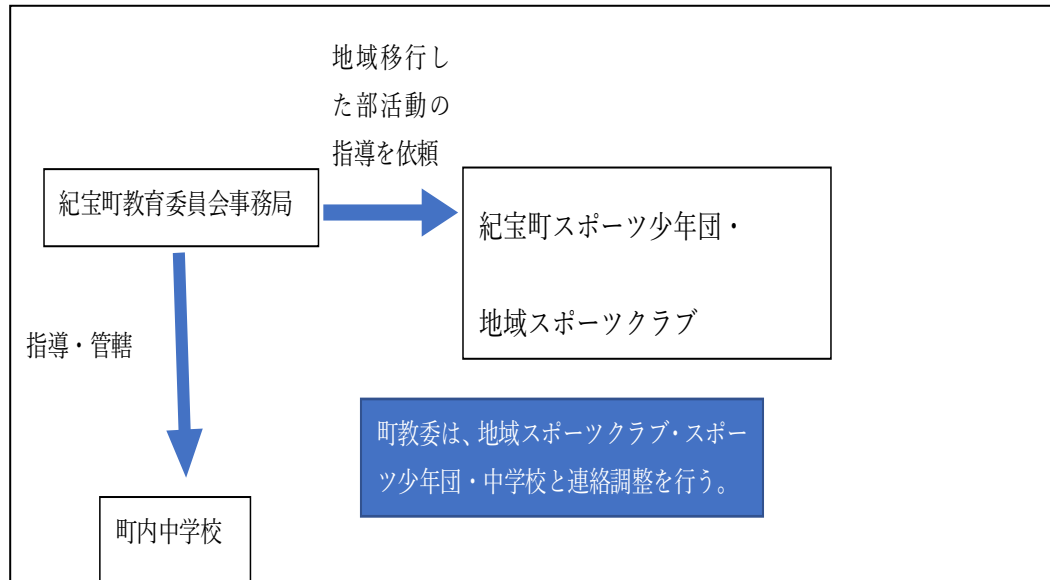
特に、紀宝町立矢渕中学校剣道部においては、部員数が少ない状況が続いており、令和5年4月から部活動指導員に休日の部活動の地域移行を依頼し、指導員が指導者を務める紀宝剣道スポーツ少年団および紀宝剣道スポーツクラブにおいて剣道部員の練習指導を行っていただいた。

令和6年度からは休日に加えて平日についても指導を依頼している状況である。加えて紀宝町立矢渕中学校卓球部では、平日の部活動において町内のスポーツ少年団である鵜殿卓球スポーツ少年団の指導者から部活動指導員として指導いただいている状況である。

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会（教育課）

- ・ 各スポーツ団体・各中学校との連絡調整

◎首長部局（総務課）

- ・ 予算措置を行う。

年間の事業スケジュール

- | | |
|-----|---|
| 4月 | ・ 参加する生徒の把握、確定
・ 参加者に対して活動概要の周知 |
| 5月 | － |
| 6月 | ・ 検討会議の開催 |
| 7月 | ・ 中体連総体 |
| 8月 | ・ 中体連総体 |
| 9月 | ・ 熊野スポーツフェスティバル（卓球） |
| 10月 | ・ 中体連新人大会（卓球） |
| 11月 | ・ 東海卓球選手権大会（卓球）
・ 東京選手権三重県予選（卓球）
・ 新宮信金理事長杯（卓球） |
| 12月 | ・ ニッタ杯三重県中学校団体卓球大会（卓球） |
| 1月 | － |
| 2月 | ・ 検討会議の開催
・ 指導者、参加者へ実施 |
| 3月 | ・ 南勢大会（卓球）
・ 全国選抜卓球大会（卓球） |

2.実証内容と成果

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		2クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）	2クラブ（2部活動）	
	B：部活動にはない種目など、新規の地域クラブ活動数	0クラブ	
全体の指導者数	3人	全体の運営スタッフ数	3人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数 (平日・休日)	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
紀宝町剣道スポーツ少年団	スポーツ少年団	剣道	- 平日4回 - 休日1回	平日：18:00～20:00 休日：10:00～11:30	3年1人 2年1人 1年0人	令和7年4月1日～令和8年3月31日	1人	1人	2,000円/年額	中体連：部活動 その他：地域クラブ
鵜殿卓球スポーツ少年団	スポーツ少年団	卓球	休日1回	休日：16:30～19:00	3年0人 2年8人 1年7人 (9月より移行)	令和7年9月1日～令和8年3月31日	2人	2人	2,500円/年額	中体連：部活動 その他：地域クラブ

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 実績なし

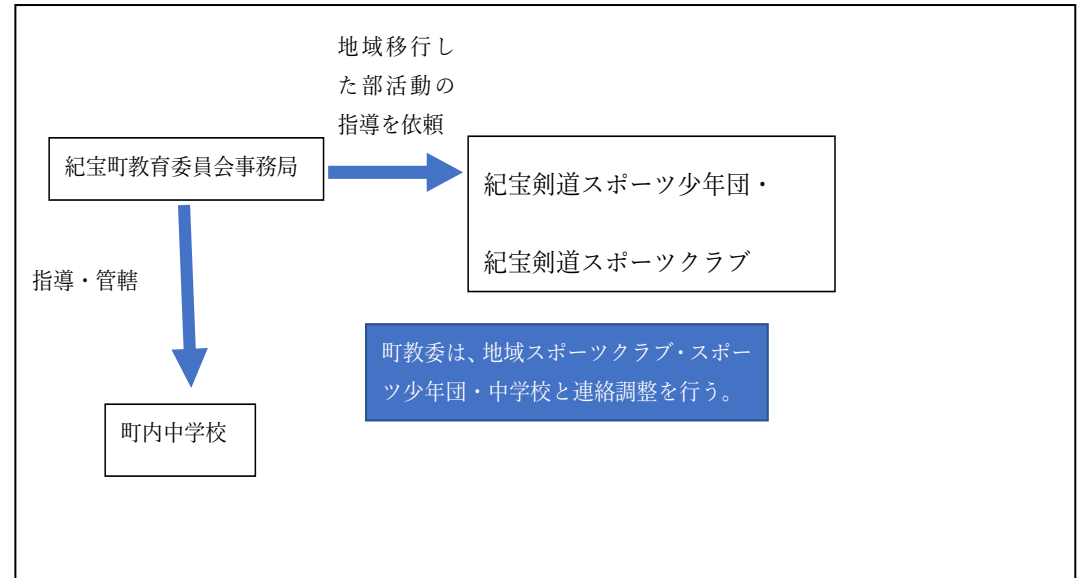
2.実証内容と成果

主な取組例

●紀宝町剣道スポーツ少年団・ 紀宝町剣道スポーツクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	剣道
運営団体名	紀宝町剣道スポーツ少年団 紀宝町剣道スポーツクラブ
期間と日数	紀宝剣道スポーツ少年団：週5回程度 紀宝剣道スポーツクラブ：週5回程度
指導者の主な属性	なし
活動場所	町民体育館・小中学校体育館
主な移動手段	徒歩・自転車
1人あたりの参加会費等 (年額)	紀宝剣道スポーツ少年団：2,500円/月 紀宝剣道スポーツクラブ：2,000円/年
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

- 自治体
役割：各クラブが計画通り練習できるよう、練習場所の確保、使用料の減免を行う
- 統括責任者（主任指導者）
役割：日々の練習指導のほか、大会参加に係る手続きを行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

剣道、卓球の両部活動の地域移行にあたり、部活動指導員として任用している指導者の所属するスポーツ少年団に依頼することで、平日と休日の一体的な指導方針のもと部活動を行うことができた。また、地域移行した部活動が適切な練習環境を持続できるよう報酬等を町が負担した。

取組の成果

剣道においては、休日だけでなく、平日においても地域移行を行い、一体的な指導を行っている。
卓球においても剣道同様、部活動時に指導している部活動指導員の所属するスポーツ少年団へ地域移行することで一体的な指導が可能となり、全国大会出場という好成績を残している。

今後の取組における課題

今後も地域移行を進めるにあたり、当地域に適切な指導者がいない場合の指導者の確保。
指導者等への報酬等の町の財政負担については検討が必要。

課題への対応方針

町単独ではなく近隣市町等による広域的な展開を検討する。
受益者負担を増やすなどして地域クラブ（スポーツ少年団）自身で運営できるよう促すとともに、国をはじめとする様々な補助金等の活用を検討していく。

運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

「スポーツ団体ガバナンスコード〈一般スポーツ団体向け〉」に準拠した運営を行っている。
町内の以前から所属し一定の運営実績のあるスポーツ少年団、スポーツクラブへ移行を行った。

地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

部活動を行っている生徒については小学生在籍時に地域移行先のスポーツ少年団に所属していたため、連絡体制及び信頼関係は構築されている。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

剣道については令和7年度以前に部活動指導員として指導していた指導者が所属していたスポーツ少年団に平日を含めた地域移行を行い、地域移行前と変わることなく指導体制を整備できた。卓球についても同様であることに加え、地域移行後も平日については地域移行先のスポーツ少年団の指導者が指導している。

取組の成果

スポーツ少年団との連携を深めるだけでなく、生徒達に負担なく移行することができた。

今後の取組における課題

指導者の高齢化による新たな指導者の確保

課題への対応方針

スポーツ少年団と更なる連携を深め、指導者の確保について検討していく。

平日・休日の一貫指導に関する取組

剣道：平日を含めた地域移行
卓球：平日は地域移行先の指導者が部活動指導員として指導

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

町内全ての部活動については地域移行できておらず2部活動のみであったが、野球については、近隣市町の地域クラブが移行先となり町内中学校生徒が参加している。

取組の成果

自治体間の連携促進により単一の自治体での対応が困難であった野球部の地域クラブ活動が可能となった。

今後の取組における課題

今後の地域展開にあたって、野球、サッカー等の集団競技については各市町単独での展開は生徒数の減少により困難になることから、広域での展開が必要となるが、受入先についても課題である。

課題への対応方針

今近隣市町との連携を密にし、受入先について積極的に情報共有を行っていく。

市区町村等を越えた取組

近隣市町の地域クラブが受け皿となり、本町を含めた複数の近隣市町村の野球部の生徒が参加し、地域移行を行った。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

剣道、卓球両部活において常時活動しているスポーツ少年団に移行した。

取組の成果

スポーツ少年団に移行することにより、学校施設を使用することなく練習場所の確保ができるだけでなく、スポーツ少年団の活動において施設使用料が免除であるため、費用を抑えることができた。

今後の取組における課題

現存のスポーツ少年団ではなく、新設の地域スポーツクラブが受け皿となった場合の練習場所の確保及び施設使用料について検討が必要。

課題への対応方針

新規の地域スポーツクラブが受入先となった場合のルールづくりについて検討していく。

学校施設利用上の負担軽減に向けた取組

スポーツ少年団が確保している練習場所（町民体育館等）にて活動

用具使用・管理等における取組

卓球台等の大きな用具は練習場所（町民体育館等）により管理

●取組項目名 ク：その他の取組

取組事項

剣道については、平日を含めた移行を行った。
卓球については平日を移行先の指導者である部活動指導員が指導を行っている。

取組の成果

剣道、卓球いずれも一貫した指導体制が構築できた。

今後の取組における課題

平日に指導できる指導者の確保及び平日も活動している受入先の確保

課題への対応方針

スポーツ少年団だけでなく地域スポーツクラブにおいても平日における指導者の確保のため、関係機関と協議していく。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

地域移行した剣道においては、生徒数の増加とはなかったが、中体連総体や剣道連盟主催大会への円滑な参加が可能となった。また卓球においては、休日においても平日と同じ指導者から指導を受けることができる体制となり、全国大会出場を果たすまでとなった。

尚、本検証については今後「紀宝町部活動の地域移行検討協議会」を開催し行う予定。

●成果の評価

卓球部の成績とともに、剣道、卓球について平日、休日における一環した指導体制を構築できた。また今後の地域展開について1つの手法として確立できた。

●今後に向けて

残りの部活動についても指導者、受入先の確保ができ次第随時進めていくとともに、確保の難しい部活動についても広域も含め関係機関と協議していく。

2.実証内容と成果④

参考資料



【剣道部中体連地区予選】



【卓球部中体連地区予選】



【中能登町との剣道交流】



【卓球部全国大会出場における表敬訪問】

2.実証内容と成果

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年

紀宝町部活動の
地域移行検討協議
会設置、検討開始

移行種目、受け皿
団体や指導者の選
定、拠点校の選定

令和5年

剣道種目の休日
における部活動
地域移行開始

剣道種目の平日
における部活動
地域移行開始

令和6年

生徒、保護者への説
明、参加希望アン
ケートの実施、学校
との調整

令和7年

卓球種目の休日
における部活動
地域移行開始

● ステークホルダー

紀宝町体育協会会長、紀宝町立矢湊中学校長、紀宝町立相野谷中学校長、等

● 経過

協議会において、剣道部の部活動指導員を務める委員から、剣道は剣道連盟、スポ少等と調整を行えば、地域移行は可能との意見が出た。

剣道部について、休日の移行に向けて準備を行っていくことに決定した。

● 実施にあたって生じた課題

練習場所の確保、練習時間の設定、通常の部活動との兼ね合い（指導方法等）

● 実施内容、工夫した点 等

受け皿となるスポーツクラブの指導者の選定にあたっては、指導者がハラスメント防止などのコンプライアンス意識を持ち、行き過ぎた勝利至上主義のもとで指導することのないような指導者、スポーツクラブに委託できるよう、調整を行う必要があることを確認した。

● ステークホルダー

紀宝町立矢湊中学校長、紀宝町立相野谷中学校長、等

● 経過

紀宝剣道スポーツ少年団と連携し、矢湊中学校剣道部の休日の活動を、地域移行した。

● 実施にあたって生じた課題

練習場所の確保、指導者の確保

● 実施内容、工夫した点 等

指導者・学校との連絡・調整を適宜行い、地域移行した剣道において、中体連等の大会参加や日々の練習を実施した。

● ステークホルダー

紀宝町立矢湊中学校長、紀宝町立相野谷中学校長、等

● 経過

令和5、6年度の、剣道部の地域移行の活動を通して、運営における反省点を洗い出すとともに新たな部活動の地域移行に向けた取組を行った

● 実施にあたって生じた課題

地域移行する部活動の選定、指導者、受け皿の選定・確保

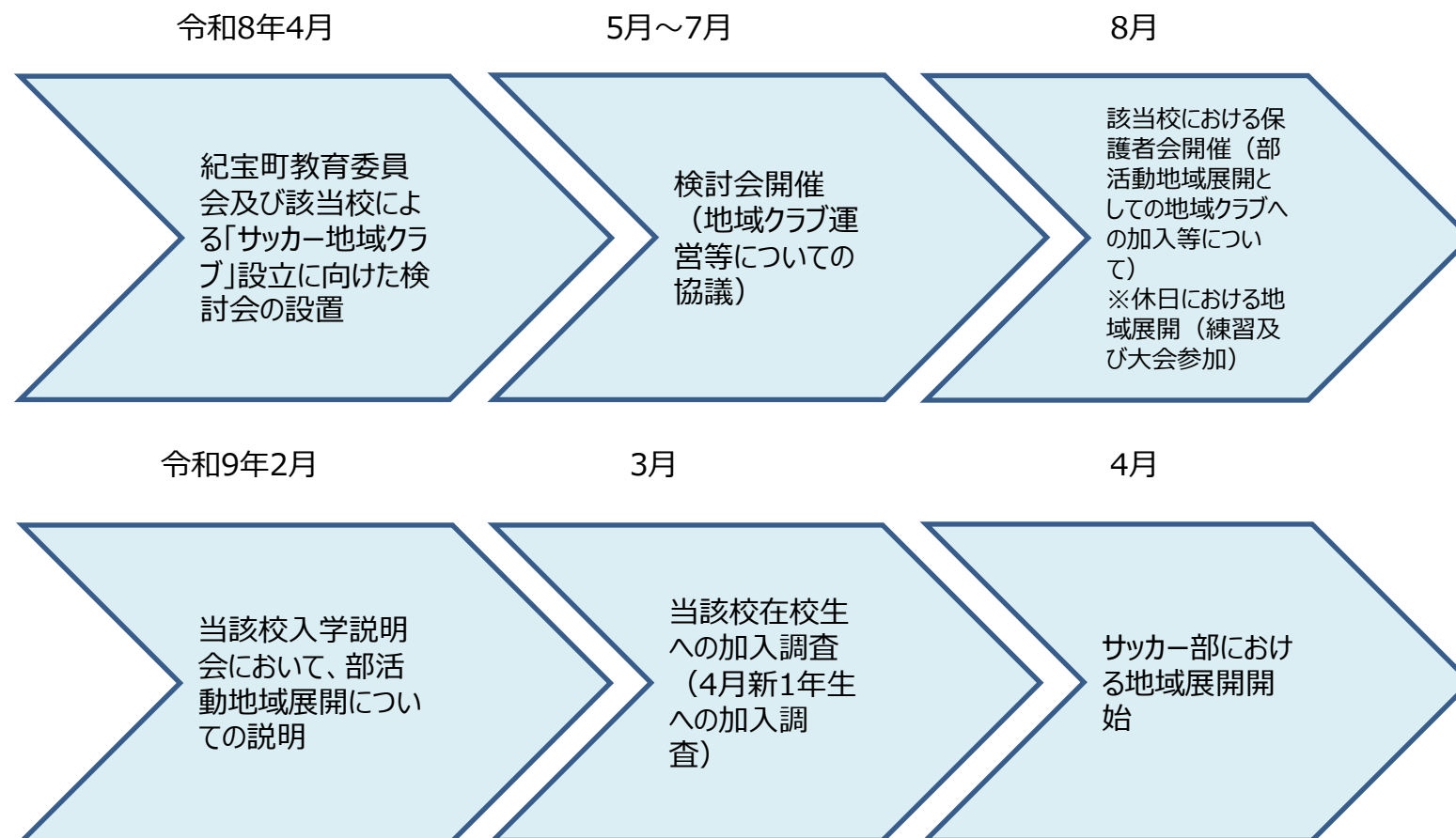
● 実施内容、工夫した点 等

地域移行する卓球および、既に地域移行を行った剣道への参加希望者数を改めて調査するとともに、新たに移行した卓球部の指導者へ支払う指導料予算の確保を実施した。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

サッカー部における地域移行スケジュール



※他の部活動については随時検討していく